



2018 今年も頑張ります

平和の都・京都から 「憲法9条守れ」の声を全国に

新しい年が明けました。

憲法9条を改悪し、アメリカと一緒に戦争できる国づくりを進めようという安倍政権の狙いを許さない三〇〇〇万人署名運動、「9条守れ」の共同行動が全国津々浦々に広がっています。

京都府は平和の都です。京都市は平和都市宣言を、市議会は非核平和都市宣言を行ない、平和の理念を共有しています。京都市在住の作家・瀬戸内寂聴さんは「戦争とは人殺しだ。戦争は絶対にしてはならない」と訴えています。こうした平和の声を京都から発信し、「憲法9条守れ」の声を全国に響かせましょう。

安心して住み続けられる京都に

京都市は、国の地方創生戦略に歩調を合わせ、過大な観光客誘致方針、企業誘致のための規制緩和・産業用地の確保、学校跡地の企業への提供など市民生活あつまわしで「稼ぐ自治体づくり」に力を注いできました。

日本共産党京都市会議員団は、新たな京都のまち壊しを許さないため、違法「民泊」の実態調査・懇談を繰り返し行ない、解決のための活動・提案を行なってきました。また、京都市美術館のネーミングライツ問題、敬老乗車証改悪問題、介護問題など、新しい共同の輪がおおきく広がりました。あらためてみなさんのお力添えに心より感謝申し上げます。

日本共産党京都市会議員団は、平和、いのち・暮らしを守る新しい政治の流れをつくり出すために、みなさんと一緒に頑張ります。

二〇一八年一月

日本共産党京都市会議員団

ご意見をお寄せ下さい

2018年1月

発行 ● 日本共産党京都市会議員団
京都市中京区河原町御池 京都市役所内

E-mail ● info@cpgkyoto.jp 京都市会議員団 検索

TEL 222-3728 FAX 211-2130



3000万人署名行動

京都の良さを守り、 市民のいのちと暮らしを守る京都を

11月
市会報告

「民泊」の規制緩和に対し、独自の規制強化を提案

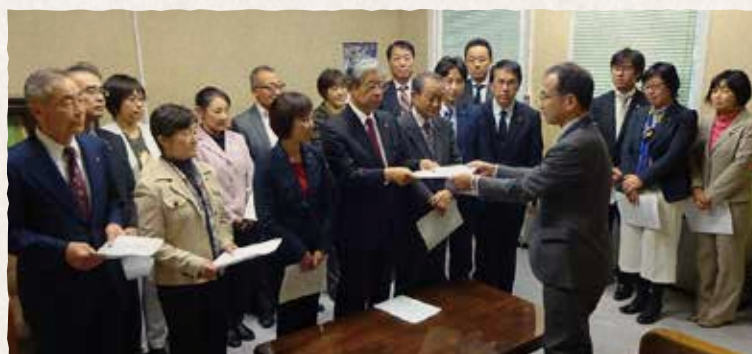
国は「住宅宿泊事業法(民泊新法)」によって、民泊を届出だけで営業できるように規制を緩和しようとしています。違法「民泊」の急増で、

すでに市民の住環境が脅かされています。安心して住み続けられる京都であってこそ、観光客にとっても魅力ある京都となります。

日本共産党市会議員団は、「市民生活を守る立場で厳しい規制条例をつくるべき」と求めています。



日本共産党京都市会議員団の提案を発表



民泊の規制を求めて申し入れ

「民泊」と京のまちを考えるつどい

日時 1月27日(土) 午後1時30分から
会場 ルビノ京都堀川・平安の間
(上京区東堀川通下長者町通下ル)

「市民の宝」敬老乗車証守れ

京都市は、敬老乗車証を、乗るたびに運賃を払う制度に改悪しようとしています。

これまで市民の運動で改悪を許さず、今の制度を守ってきました。昨年11月16日には、第11次の署名提出を行ない、これまでに35,066筆の署名が寄せられました。



「敬老乗車証改悪ストップ全体集会」11月23日



署名提出



宣伝行動

子どもの医療費無料化の拡充、中学校給食の実現を



いのちの署名に取り組む議員団

京都市の子どもの医療費助成制度は、3歳未満は1医療機関あたり月200円ですが、3歳になると通院は月3000円までは自己負担となります。京都府内で最も遅れています。お金がないことを理由にした未受診や診療中断をなくすことは、市の責任です。

また、都道府県別の中学校給食実施状況で、京都府は35.7%、全国ワースト2位と遅れています。